

案件化調査

タイ王国・マレーシア国 廃蛍光灯類から有害物質である水銀を分離・回収するプラント設備普及に向けた案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：日本蛍光灯リサイクル株式会社
- 提案企業所在地：東京都台東区
- サイト・C/P機関：1) タイ王国バンコク都環境局または工業省産業局、または2) マレーシア国天然資源省環境局

タイ国・マレーシア国の開発課題

- 水銀を含有している点で有害廃棄物である廃蛍光灯・水銀灯のほとんどは、適正に処理されていない可能性があること
- 「経済成長」、「人口増加」、「都市化」により廃蛍光灯排出量は今後も増加が続くこと
- 以上の要因により、適正に処理されないまま環境中に排出される水銀量が今後も増加を続けると考えられること
- 水俣条約へ署名に至っていないこと

中小企業の技術・製品

- 廃蛍光灯・水銀灯からリサイクル可能物を取り除き、水銀含有物の大幅な減容を図ることで最終処分に係るコストを低く抑えられること
- シンプルな機械構造のため故障が少なくメンテナンスが容易であること
- 設備費、ランニングコストを低く抑えられること

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- ODA事業として提案する案件は以下2つ：1) 廃蛍光灯リサイクルプラント普及に向けた実証事業、および2) 水銀含有廃棄物の適正処理能力向上のための研修事業
- 期待される効果として、1) 普及・事業実証地のインフォメーションセンター化、2) 回収制度の再整備・徹底、3) ガラスリサイクルビジネスの創出

日本の中小企業のビジネス展開

- 2020年までに9基販売。同時期に周辺国へも販路を拡大する。

